

5月12日(金)9時30分からCRTスタジオで収録予定

国語の学習方法を考える

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 国語学習のポイントは、
 - ①教科書の音読と、
 - ②教科書全文の書き写し、
 - ③まとめノートの作成、
 - ④代表作の読書の4つです。(2) 国語学習の本質は日本語学習ですので、学習方法としては、英語学習の方法と全く同じです。
(3) ①意味のよくわからない語句があれば、「気持ちが悪い」と考え、「辞書を用いて調べる」が第一です。
 - ②「辞書で調べた内容」は「意味調べノート」に書き写す。
 - ③「漢字の読み方」がわからなければ、「漢和辞典(漢字辞典)」を用いて「読み方」と「意味」を調べる。
 - 「漢和辞典で調べた内容」も「意味調べノート」に書き写す。
 - ④「古文」の意味がわからなければ、「古語辞典」を用いて「意味」を調べ、「意味調べノート」に書き写す。
 - 「読み方」も書き写す。
2. (1) 「意味調べノート」に書き写した内容は、「音読練習」「書き取り練習」をして、その場で「覚える」「定着」させる。
(2) 「辞書」を用いて、意味のよくわからない語句の「意味」や、読み方のわからない漢字の「読み方」がわかったらどうするか。
(3) 「教科書」を「スラスラとよく読めるようになるまで、音読練習」をすること。英語と全く同じです。
○できれば、「何も見ないで、スラスラと口をついで出てくるようになるまで、暗唱練習」をすること、「全文を覚えてしまう」ことです。
3. (1) 国語は、「授業ノート」をもとにして、「授業ノート」とは別に、「まとめノート」を必ず作りましょう。
(2) 「現代文」は、「大切な文章を書き写す」。
(3) ①「古文」や「漢文」は、ノートを縦書きに用いて、「教科書の全文を、2行おきに書き写す」。

②そして、「読み方や意味を、空いているところにどんどん書き入れていくこと」をおすすめします。

③作り終えた「まとめノート」は、「音読練習」「書き取り練習」を必ず行い、「全部、覚える（暗唱する）」「全部、書けるまでにする（暗記する）」ことです。

4. (1)同時に、教科書の全文を、「原稿用紙」に「書き写す」ことをおすすめします。

(2)国語の教科書の全文を書き写すことは、「表現能力」「作文能力」を身に着けるのにとっても役立ちます。

(3)原稿用紙に書き写したものは、学校や開倫塾の先生に見て頂き、「原稿用紙」の使い方をご指導して頂きましょう。

5. <最後に一言>

(1) ①「教科書で取り上げられた作品」で気に入ったものがあれば、その作品を図書館で探し出し、その作品の「全文を読んでみる」。

②インターネットで探し出し、「全文を読んでみる」。

③お小遣いがあれば、書店や古本屋さんでその本を買い求め、「全文を読んでみる」。

(2) ①その本の作者・著者が気に入ったら、その著者の「代表作」を「全文読んでみる」。

②一度でわからなければ、二度、三度、繰り返し、ゆっくり読んでみる。

③「代表作」が気に入ったら、「その作者・著者の全作品」を、何年かけてでもよいから、全集などで何回か読んでみる。

(3) <例えば…> 「論語」「孟子」「大学」「中庸」「貞観政要」「花伝書(世阿弥)」「石田梅岩」「たけくらべ(樋口一葉)」「吾輩は猫である、坊っちゃん、三四郎、それから(夏目漱石)」「墨汁一滴(正岡子規)」「十二支考(南方熊楠)」「トロッコ、蜘蛛の糸(芥川龍之介)」「最後の一句(森鷗外)」「志賀直哉」「貝原益軒」「伊豆の踊子(川端康成)」「学問のすゝめ(福沢諭吉)」「蹇蹇録(陸奥宗光)」「小村寿太郎」「和辻哲郎」「小林秀雄」「福田恒存」「柳宗悦」「丸山眞男」「小室直樹」「長谷川慶太郎」「熊谷徹」「岡崎久彦」「ジェフリー・アーチャー」「車輪の下(ヘルマン・ヘッセ)」「誰がために鐘は鳴る(ヘミングウェイ)」「サマセット・モーム」「モンゴメリ」「小泉八雲」「シェイクスピア」「ウィリアム・ブレイク」「エドモンド・バーク」「アダム・スミス」「スピノザ」「アリストテレス」「トマス・アキナス」「ハイエク」「トマス・フリードマン」